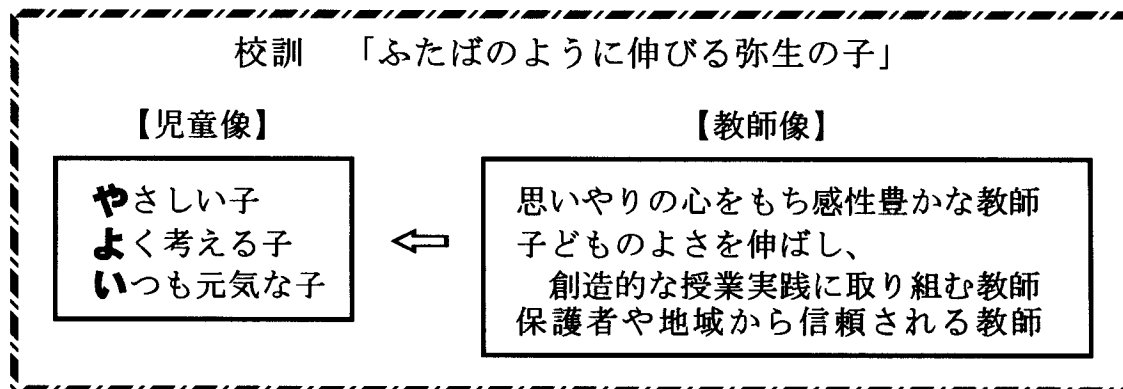


II 学校経営計画

1 学校教育目標

『21世紀をたくましく生きる、よりよき社会人としての基を育てる』



2 めざす学校像（基本理念）

- (1) 一人一人が高い学校運営参画意識を持ち、意欲的に実践する学校
- (2) 積極的に自己研鑽を図り、職員間のより良い相互作用により、力量を高め合う学校
- (3) 保護者・地域と連携し、信頼される学校
- (4) より良い教育の在り方を考え、研究を推進し提起する学校
- (5) 子どもが来たくなる学校

3 教育方針

学校教育目標は、未来により良く生きる力を獲得することができるように、子どもたち一人一人を育てることを意味している。より良く生きる力とは、社会の中で適切に生きることができる力であり、そのためには、子どもたち一人一人に学力と体力をしっかりと身につけ、より向上させなければならない。同時に、社会に生きるための適切な社会性をも十分に身につけ、向上させる必要がある。

そのためには、安全で安心して学び、生活ができる環境を整え、一人一人の資質や能力を伸ばさせる教育に努めるとともに、一人一人が互いを認め合い、尊重し合える関係性の向上を図り、家庭・地域社会との連携を図りながら、活力に満ちた学校づくりに努める。

4 学校経営にあたって

学校教育目標の実現に向けて、具体的なめざす学校像を掲げ、その方針を明らかにして学校経営を行っていききたい。これらの実現のためには、職員間の共通理解と共通実践が必要であり、その上で各自の授業力の向上を図らねばならないと考えている。授業力の向上は指導力の向上の原点であり、子ども達一人一人の資質や能力の向上の原動力となるからである。学校経営にあたり最重要視したい観点の一つである。

また、学校経営にあたり、主任等が機能する組織的な経営を行いたい。一人一人に高い学校運営参画意識を持つことを求めているが、主任等は自分が学校運営における中心であるとの自覚と自負を持ち、より一層高い学校運営参画意識を持つとともに、組織という観点を意識した実践に結びつけたいと考えている。

一方、学校の多忙化が問題となっている。多忙化により、学校が最も重点を置いて実践すべきことに力点を置けなくなってしまうたり、職員の前向きな意欲が減退したり、あるいは健康に障害がおきたりということがないように、この問題に対しても前向きに対応したいと考えている。学校経営にあたり、校長は職員に多くを求めがちであるが、何が重要なことで、瑣末なことは何であるか。このことをいつも自身に問いかけながら、メリハリの効いた学校経営に心がけ、職員の高い実践意欲を引き出せるように学校経営を行いたいと考えている。

5 中期的目標と方策

(1) 「一人一人が高い学校運営参画意識を持ち、意欲的に実践する学校」づくりについて

① 中期的目標

- ・ 一人一人の分掌校務の実践に対する自覚と自負を育成する

② 方策

- ・ 分掌校務と組織との関連を意識して校務を実践する
- ・ 課題と戦略をボトムアップ的に提案するための運営会議を発足させる

(2) 「積極的に自己研鑽を図り、職員間のより良い相互作用により、力量を高め合う学校」づくりについて

① 中期的目標

- ・ 授業力向上のための自主的な研修を継続して深化させるとともに、授業の相互参観を活性化する

② 方策

- ・ 学習指導委員会に授業力向上担当を置く
- ・ 自らが求める研修となるよう内容を工夫する
- ・ 教師相互又は児童も交えた積極的な相互参観の機会を創る

(3) 「保護者・地域と連携し、信頼される学校」づくりについて

① 中期的目標

- ・ 保護者や地域住民が気軽に訪れ、学校行事等に参加できるようにする

② 方策

- ・ P T Aや公民館との意思の疎通を大切にし、様々な面で相互に協力する
- ・ 放課後学習を学生や地域住民のボランティアを募り実施する
- ・ 観桜会を開催し、地域住民と児童との交流の機会を持つ
- ・ 地域各種団体からの要望に耳を傾け、積極的に協力する

(4) 「より良い教育の在り方を考え、研究を推進し提起する学校」づくりについて

① 中期的目標

- ・ 教育のより良い在り方を柔軟に追究し、研究主題等の達成を目指す

② 方策

- ・ 全国小学校社会科研究協議会石川大会に向け、研究を推進する
- ・ 公開研究会を開催し研究の継続性を確保するとともに、常に課題意識を持ちながら研究を推進する
- ・ 指導主事等や専門性の高い外部人材を活用し研究を推進する
- ・ 市や県の内外を問わず、研究会等に積極的に学び、学校研究に還元する

(5) 「子どもが来たくなる学校」づくりについて

① 中期的目標

- ・ 児童が互いに認め尊重し合い、いじめや暴力行為、不登校を0にする

② 方策

- ・ 分かる授業と安心して安全な楽しい学校づくりに心がける
- ・ 「弥生っ子宣言」の意識化を図る
- ・ 友達の良いところを見つけ、認めることの大切さに各学級で取り組む
- ・ 問題行動等に迅速且つ適切に取り組み、新たな不登校を発現させない

6 今年度の重点的な取組目標と具体的な方策

(1) トップダウンとボトムアップの両面が機能する組織的な学校運営をする

- ・ 課題と戦略をボトムアップ的に提案するための運営会議を発足させる

(2) 授業力の向上を図る

- ・ 自らが求め、欲するような主体的な研修により、授業力の向上を図る

(3) 多忙化の解消を図る

- ・ メリハリを効かせ、組織的な学校運営により職員の負担を軽減する